

福祉・介護職員等処遇改善加算にかかる取組について（令和８年度）

当事業所では、職員の賃金体系の整備、スタッフ育成のための研修支援等、職場環境整備に取り組んでおります。これらの取り組みにより、加算の算定要件を満たしていることから、福祉・介護職員等処遇改善加算を取得しております。

また福祉・介護職員等処遇改善加算（ⅠまたはⅡ）の算定要件のひとつである「見える化要件」として、職場環境の改善に係る取組内容をホームページへの掲載等により公表することが求められているため、以下のとおり公表いたします。

【入職促進に向けた取組】

- ・法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化
- 入職時オリエンテーションやミーティング等で職員へ共有しています
- ・他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用の実績でも可）
- 年齢や経験に関わらず、個々の適性や意欲を重視した採用を行っています

【資質の向上やキャリアアップに向けた支援】

- ・働きながら国家資格等の取得を目指す者に対する研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する各国家資格の生涯研修制度、サービス管理責任者研修、喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修等の業務関連専門技術研修の受講支援等
- 外部研修の受講費補助や勤務調整等により、資格取得を支援しています
- ・上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保
- 定期的な面談の機会を設け、キャリアや働き方について相談できる体制を整えています

【両立支援・多様な働き方の推進】

- ・子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備
- 個々の家庭状況に配慮し、両立しやすい環境づくりに努めています
- ・職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備
- 希望や状況に応じた柔軟な勤務形態の調整や働き方の選択ができる体制を整えています
- ・有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけ等に取り組んでいる

- 有給休暇の取得状況を把握し、声掛け等により取得しやすい環境づくりに取り組んでいます
- ・有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消に取り組んでいる
- 業務の共有化や複数担当制により、負担の偏り軽減に取り組んでいます

【腰痛を含む心身の健康管理】

- ・業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実
- 職員が相談しやすい体制を整え、必要に応じて面談等を実施しています
- ・事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備
- マニュアルを整備し、職員間で共有・周知しています

【生産性向上のための取組】

- ・現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している
- 業務の振り返りや課題整理を行い、改善に向けた取り組みを進めています
- ・5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている
- 整理整頓や清掃を徹底し、働きやすい環境づくりに取り組んでいます
- ・業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている
- 記録様式の見直しや手順の整理により、業務効率化に取り組んでいます
- ・業務支援ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入
- ICT機器の活用により、記録や情報共有の効率化に努めています
- ・業務内容の明確化と役割分担を行い、福祉・介護職員が支援に集中できる環境を整備。特に、間接業務（食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等）がある場合は、間接支援業務に従事する者の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う。
- 定期的な業務分担の見直しにより、支援業務に集中できる体制づくりに取り組んでいます
- ・各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行うICTインフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施
- 業務の効率化や負担軽減を図るため、体制整備や仕組みづくりに取り組んでいます

【やりがい・働きがいの醸成】

- ・ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善

→定期的なミーティングを通して意見交換を行い、職場の環境改善に活かしていきます

- ・地域社会への参加・包容（インクルージョン）の推進のため、モチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施

→地域との関わりを大切にし、交流の機会づくりに取り組んでいます

- ・利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供

→研修やミーティングを通して理念や支援方針の共有を行っています

- ・支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供

→支援の振り返りや事例共有を行い、やりがいの向上につなげています